科目名	急性期看護論実習 (Clinical Practice in Acute Care Nursing)			科目コード	215
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数（時間）	1単位（45時間）
科目区分	専門科目	履修時期	３年次後期又は ４年次前期	関連DP	看①②③
担当教員	宮宇地　秀代、松井　美由紀、高橋　博子、仲田　琴美				
実習内容	急性期にある患者に対して、手術などの生体侵襲が患者の回復過程に及ぼす影響を理解することができる。さらに、心身ともに危機的な状況にいる患者家族が危機的状態に対処しながら回復を促進し、その人らしいQOLが維持できるための実践能力を養う。				
実習目標	1　病気や治療・手術に対する患者の意思決定と主体的な取り組みへのサポートを理解する。 2　治療や手術を受ける患者の心身の準備状態を評価し、患者に起こり得る影響を理解する 3　病気や治療・手術からの心身の回復過程を理解し、その経過に応じた支援を考える。 4　患者が病気や治療・手術がもたらす変化に適応し、その人らしい日常生活を送るための支援を考える。 5　患者の入院前および退院後の心理や生活状況を理解し、外来での看護師の役割を理解する。 6　救急やクリティカル期における看護のあり方を理解する。 7　手術室での看護師の役割を理解する。				

授業計画

実習内容	
１．実習場所：愛媛県立中央病院 ２．実習期間：３週間　　時間：　８:30－16:30 ３．実習展開：詳細は実習要綱を参照	
成 績 評 価 方 法	実習評価表（100 点）の到達度に基づき、評価する。
教科書	急性期看護方法論で使用した教科書、レジュメおよび資料等
参考図書等	医療情報科学研究所「病気がみえる vol. 1 消化器、vol. 3 糖尿病・代謝・内分泌 vol. 4 呼吸器、vol. 9 婦人科・乳腺」（メディックメディア） 石塚睦子「よくわかる周術期看護」（学研メディカル秀潤社）
授業時間外の 学習について	予習：急性期看護方法論で学習した内容を必ず復習すること。提示した事前課題 授業内で学習した技術の自主練習をして実習にのぞむ。 復習：実習中に体験した看護を振り返る。
関連科目	139 医療と安全、212 急性期看護方法論、213 慢性期看護方法論、217 老年看護対象論、240 技術特論→本科目→245 総合実習、242 看護管理、140 チーム医療、246 成人看護特論
備　　考	実　宮宇地、松井、高橋、仲田：看護師（医療機関） ＊実習事前課題は、実習前に掲示板にて連絡します。 ＊受け持ち患者の状況により、実習時間が延長になることもあります。